

映像制作を「受注」

映画塾初の直接関与 予算は数百万円 市民有志が募金

にいがた映画塾は、九月から一年間をかけた「夢ある学校づくり」を進める県内の学校の取り組みを映像化することにしました。市民有志でつくるプロジェクトからこのほど、ビデオ制作の発注を受けたもので、映画塾が主体となって映像制作に取り組みのは初めてとなります。

発注元は、県地域づくりアドバイザーの清水義晴さんから市民約三十人ほどでつくる「子供の夢が育つ学校づくりプロジェクト」。県内六、七校の先進的な事例を九十、百二十分のビデオにまとめて各地で上映会を開き、夢のある学校づくりを広めようという狙いです。制作費は全額、賛同者からのカンパで賄う予定で、一口一万円、六百人分を目標に掲げています。

ビデオ制作に取り組んだ背景として、子供の重要な教育場所の一つである「学校」の荒廃が進んでいるという現実があり、先進的な取り組みを

「夢ある学校」ビデオ 1年かけ



第十号(二〇〇〇夏)
編集・発行
にいがた映画塾
〒950-0086
新潟市花園2-3-2 飛鳥ビル
電話・ファクス
025-1248-9088

映像で紹介することで、学校の再生運動が広まってほしいという願いがあるそうです。映画塾では、県内の本格的な映像作品であることや、人づくりという面で趣旨に共感できることから、清水さんらに撮影協力を打診。同プロジェクト側は「新潟の映像文化の発展を応援する」という点で、快諾

をいただきました。映画塾では今後、十人ほどのプロジェクトチームを組み、具体的な作業に入りますが、副代表でビデオカメラマンの笹崎

【解説】映画塾が初めて映像作品制作に直接携わる。しかも「仕事」として。この事実は今回の作品以上に今後、重要な意味を持つかもしれない。

塾の将来像に影響も

映像塾はこれまで、作品づくりの応援はしてきたが、直接制作はしてこなかった。その結果、映画塾が特定のジャンル、団体に縛られず「映像制作の環境づくりを行う団体」として、存在価値を高めてきた面がある。

強みを生かし、予算は既存のプロジェクトの半額以下となる。今回の作品が成功すれば、映画塾の維持費の柱として、ビデオ制作請け負いが期待できる。

一方で、仕事として映像制作の予算としては多

杯で、機材をそろえるのもままならないという現実もある。そこの意味で、今回数百万円という予算は、数少ない数字だ。一定のクオリティを保った映像作品制作の予算としては多

くはない。しかし、たかだか年間八十八万円の予算の団体の臨時収入としては非常に大きい。定例会では、今回の夢が育つ学校づくりビデオが、それが会員の一人ひとりが考えるべき問題だ。映画塾発足から三年。それだけ映画塾は大きくなってきたのである。今回の映像作品が成功するのは大前提だが、「これからの映画塾」についてみんなで話し合う時期に来ているのではないが。(星)

隆氏、映画監督の小林茂氏らプロの技術を活用しながら、意欲的な若手会員も含んだメンバーを構成する見通しです。

地域を巻き込んで教育改善に取り組んだ十日町小(十日町市) 先進的な校舎で新しい統合中学校づくりを進める聖籠中(聖籠町) 不登校児の学び

交え、ハミリ制作実習をはじめ映像機材、録音、演技などの実習や映画理論の講義などが毎週日曜日に行われました。

八月からの卒業制作はスタッフが企画を選ぶのではなく、受講生が賛同者を集め、実現に向かったシナリオ講座は七月二十九日、八月二日が最終回。一カ月後に自由課題の提出となります。どちらも夏はこれからが本番です。

その結果、それ以前、以後では映画塾の形は大きく変わるかもしれない。すなわち、「収益も意識した映画塾」である。映画塾がどうあるべきか、それは会員の一人ひとりが考えるべき問題だ。映画塾発足から三年。それだけ映画塾は大きくなってきたのである。今回の映像作品が成功するのは大前提だが、「これからの映画塾」についてみんなで話し合う時期に来ているのではないが。(星)



プロの映画録音技師、白井勝氏(左端)による録音講座。七月三日、新潟市万代市民会館

第5期卒業制作へ

「シナリオ講座」は2日終了

五月十四日に開講した映画塾第5期講座。全十三回の講座編も終わりに近づき、受講生はいよいよ映画塾のだいご味である卒業制作に取り組ま

中です。すべての企画が実現する保証はなく、受講生にとってはこれからが踏ん張りどころです。

撮影開始は九月の予定です。秋、冬、春と、各学校の四季の風景を織り込みながら、のべ二十日三十日間撮影を行います。編集、仕上げを経て、完成は来年夏の予定です。会員は意欲さえあればだれでも参加可能です。プロとして通用する技術をたたき込みます。その後の自分の夢の実現へ大きな一歩となるはず

「自主性」が問われることになりました。全部で十八本の企画が出され、七月二十三日夜現在、六本の企画が進行

シナリオ講座は、二十

ナシモトタオ氏の両講師により濃厚な講義が毎回行われ好評でした。詳しくは二面のレポートを参照して下さい。

その後の自分の夢の実現へ大きな一歩となるはず

2日からまつだい映像祭 「王様と裸」など 塾生作品も上映



まつだい映像祭 MATSUDAI FILM FESTIVAL

8月は映画祭花盛り



逆にリアルな フツの青春 「スクールデイズ」

一人の高校生がいる。親友をバイク事故で失った彼は同時に情熱も失い日常に埋もれている。しかし、ふとした出来事から彼は一つの目標に向かって情熱を注ぎ込んでいく。映画「School Days」は至って普通の青春映画だ。拳銃も出てこない。ガングロ女

5日に石川監督新作上映

子高生や援助交際、まわれるかもしれないが、してやセックス描写も決してこの映画は夢物語ない。昨今の若者の暴走の事件やそれに伴うメディアから発生するイメージとは全く無縁の高校生の日常が画面に映し出される。

School Days

(2000年・16ミリ・40分・カラー)
出演 佐藤直樹、斎藤絵里奈、高橋梨沙、金田えりな、大坂光央ほか
企画・製作/あどりぶシアター 監督・脚本/石川浩之 プロデューサー/ナシモトタオ 音楽/佐々木良純 撮影/佐藤広一

15日に加茂で感謝の上映会

加茂市を舞台にした「とやすみ」(関谷洋美監督)を中心とした上映会「加茂・桐のまち映画上映会」が八月十五日、加茂市立図書館で行われま

れた町の魅力の一端に触れる。その時の「ちよつ」とい感じ」が、まるで町に流れる時間のような、のんびりとした映像の中に繰り広げられていきます。今年東京で行われた日本最大の映像フェスティバル「イメージフォーラム」の「ヤングパースペクティブ」部門で上映となり、大人も子供も、お年寄りも、みな喜んでいただけたら幸いです。ぜひお立ち寄り下さい。

加茂・桐のまち映画上映会

日時 8月15日(火)
午後2時、4時の2回上映
会場 加茂市立図書館(加茂市神明2丁目)
入場無料

上映作品

- ・ひとやすみ(1999年・8ミリ・28分)
- ・花(1976年・8ミリ・3分30秒)加茂ビデオクラブ作品
- ・明日の加茂(1981年・8ミリ・6分)同上
- ・街(1999年・ビデオ・6分)
- ・1 NIGHT(1999年・ビデオ・20分)映像制作集団アゴドリル作品
- ・失くしたもの(1988年・8ミリ・4分)三条高校映画部作品

出席率の良さに驚き

にいがたシナリオ講座レポート

「映画を撮ろうと思わなくても、シナリオを書きたい人って沢山いるんじゃないかな」ということから始まった「にいがたシナリオ講座」。カリキュラムはシナリオセンターで半年かかって学ぶことを全六回に詰め込み、二週間という期間の中で毎回二つの課題をこなしてもらうという過酷なもの。

授業初日、厳かな緊張感が漂う教室の中で淡々と授業を進める講師と、熱心に耳を傾ける生徒の姿を見て「頼む！このまま最後まで頑張ろう！と、思ってたものでした。しかしこんな私の心配をよそに二回、三回と回を重ねても、出席率と課題の提出率の良さはキープされ、スタッフ一同恐れ入るばかりなのです。シナリオを書くというところは、自分を見つめ、発想し、想像を膨らませたものを他人に伝えるという大変な作業です。この体験が皆さんの中でどのように化学変化を起しているのか、とてもドキドキしています。(シヤノン)



加茂市を舞台にした「とやすみ」(関谷洋美監督)を中心とした上映会「加茂・桐のまち映画上映会」が八月十五日、加茂市立図書館で行われま

七月二十日から十日町市を中心とした妻有地域で開催されている「大地の芸術祭」の関連イベントの一つ「まつだい映像祭」が八月二日から五日まで松代町で開催されます。ドキュメンタリーや実験映像など世界からいろいろなジャンルの映像を集めて公開されますが、自主映画(学生映画)枠の中で第二期の卒業作品「記憶の記録」(井上朗一監督)と第四期の卒業

作品「王様と裸」(中野敏寛監督)の二作品が上映されます。また、この映像祭のメイン作品は映画「白痴」で、監督の手塚真氏の新作「実験映画」も併せて上映。最終日には手塚監督本人も駆け付け、音声詩人楠かつのり氏とのフリートークが予定されています。期間中は映画塾からも有志がボランティアで参加。映像祭を盛り上げる内容です。豊かな自然に囲まれ映画三昧はいかが？

シネバン2000

9月24日は篠原哲雄監督特集

自主時代の作品3本

シネバン二〇〇〇、九月二十四日は若い女性から絶大な人気を集める「月とキャベツ」や、八月五日から東映で上映される深田恭子主演「死者の学園祭」の監督、篠原哲雄氏の特集です。

ある日、何だかみよーにひかれて借りた二本のビデオ「草の上の仕事」と「月とキャベツ」。

篠原哲雄監督作品上映会

～キャベツになるまで～

日程 9月24日(日)
会場 新潟市古町通4番町総合イベントホール ナイト(旧日活劇場)

上映作品(上映順)
亀顔少年(1984年、8ミリ、18分)
RUNNING HIGH
(89年、8ミリ、26分 PFFアワード特別賞)
草の上の仕事
(1993年、16ミリ、42分 神戸インディペンデント映画祭グランプリ)
爆笑問題の太田光が出演

上映時間
1回目 午後2時
トーク 午後4時
2回目 午後5時
料金
前売り 1200円 当日 1500円

フリークス好きに好評

寺嶋真里映像作品上映会+宮嶋淳子陶芸作品展覧会報告(4月29日 新潟市・自由空館「蔵」)八十人以上が来場

京都の映像作家・寺嶋真里さんをお招きして、数多いフィルムグラフィックの中から「姫ころがし」(一九九九年)、「女王陛下のポリエステル犬」(一九九四年)、「緑虫」(一九九一年)の三本を上映しました。バラの花

とフリルのドレス、女の子の世界全開な寺嶋ワールド。男の人にはどうかなあ…と心配だったので、フリークス好きの人たちに大好評でした。寺嶋ワールドが「ベル薔薇」だとしたら宮嶋さんの陶芸は「なき虫ムシ」(な)ほっこりとかわい

の強烈な小夜美ちゃん母娘。忘れられませぬよね。(駒形千夏)

圧倒的個性 見せつける

原将人上映会「初国知所之天皇」(はつくにしらすめらみこと)。(7月1日シネ・ウインド)観客数九十六人。会場はシネバン念願のシネ・ウインド。前売り二千五百円とリスクを背負った上映会であったが、入場者数は今までの最高を記録。「初国知所之天皇」は



即興的に撮影した八ミリを再撮影時にスロー、コマ送りなどスピードコントロールを加え、監督自身のモノロークによる、

しかも二面マルチ上映版。その後の日記映画のスタイルに決定的に影響を与えた作品。当日はライブ上映ということで原監督は和服写真に赤い帽子で登場。共演の地元ギターリスト堀川英明さんに加え、監督はエレキトリックピアノを演奏し、歌まで披露するパフォーマンスぶり。「二〇世紀ノスタルジア」で見せた圧倒的な個性そのままに、映像作家原将人一色に染まったライブ上映会であった。なにしろ客が帰っても、また歌おつとしていた。(笹崎隆)

期待して「っっていうプレッシャーを背負っての交渉」。そしてついに決定!!

九月二十四日、新潟市古町四番町の総合イベントホール「ナイト」(旧日活劇場)で、篠原哲雄監督の八ミリ処女作品から劇場用長編映画(月とキャベツ)を製作する以前の作品三本を上映。監督登場! トークあり。登場人物の間に流れる空気が篠原監督独特のもの。その空気を言葉で表現することはできない。正確に伝えるに適した言葉が見当たらないのだ。それは自身で感じてほしい。その空気に触れることのできた人は、映画を見終わった後、余韻で胸がいっぱいになるはず。監督の人間を見つめる視線に注目してほしい。(渡辺典子)

「期待して」っっていうプレッシャーを背負っての交渉。そしてついに決定!!

九月二十四日、新潟市古町四番町の総合イベントホール「ナイト」(旧日活劇場)で、篠原哲雄監督の八ミリ処女作品から劇場用長編映画(月とキャベツ)を製作する以前の作品三本を上映。監督登場! トークあり。登場人物の間に流れる空気が篠原監督独特のもの。その空気を言葉で表現することはできない。正確に伝えるに適した言葉が見当たらないのだ。それは自身で感じてほしい。その空気に触れることのできた人は、映画を見終わった後、余韻で胸がいっぱいになるはず。監督の人間を見つめる視線に注目してほしい。(渡辺典子)

ラジオ「Cinemaで愛して」新体制でリニューアル

ラジオの放送が始まりは半年、少しマンネリ? の声もちらほらと出て来た四月下旬、第5

貴重な体験 ただ感謝!

加藤真奈美

制作がどんなものなのか役目を果たすことができ、ほんの一部を垣間見れた気がします。

ラジオ「Cinemaで愛して」新体制でリニューアル

ラジオの放送が始まりは半年、少しマンネリ? の声もちらほらと出て来た四月下旬、第5

貴重な体験 ただ感謝!

加藤真奈美

制作がどんなものなのか役目を果たすことができ、ほんの一部を垣間見れた気がします。



長谷川さん(右)とカラサワさんの新コンビ

お製作は無理だと言う一部の声もあり、どうするか長い話し合いが行われました。パーソナリティの加藤真奈美さんの仕事の都合もありこの際思い切って新しい体制で製作しよう! という提案があり、長谷川・カラサワの「もち肌コンビ」(自分で言うっていい)の誕生となったわけです。ディレクターには田巻源太と駒形千夏をむかえ、若い感性で今まで以上に面白いものをお届けできると自負しています。九月くらいからのディレクターが帰ってくるの噂がありますが、それはともかくこれからモシネマで愛して! をどうぞよろしく!(堀浩)

話すのって難しい

長谷川幸枝 普段はあまりおしゃべりでなく、どちらかというと聞き役の私。ラジオじゃそれじゃだめだつてんで、最近普段もよく話すようにしています。いやー話すと同時に、一人の力では成り立たない皆さんの協力が必要です。

リクエスト下さい

カラサワユウコ パーソナリティの長谷川さんと番組をやっているカラサワユウコです。収録はほぼ毎日緊張感があつて毎回楽しくやっています。この感じがラジオを通して伝わってたら嬉しいです。リクエストハガキ待っているのでもっと送って下さい。

インディーズ フェスティバル 今年も募集開始!

第四回「にいがたインディーズムービー・フェスティバル」が、今年も十一月十九日(日)に開催されることになりました! 会場はこれまでと同じシネ・ウインドです。

八月一日から作品募集を開始。今回も監督が会場に来ることを条件に、応募作品は上映時間が許す限り上映します。今年はずりだけの作品が集まるのでしょうか。

応募資格、作品規定
製作年、プロ・アマチュア等は問わない。フィルムは八ミリ、一六ミリ、ビデオはVHS、SVHS 一人一作品。上映時間は三十分以内。映画祭当日に会場可能な方に限る。既成の音楽などを、その著作権者の許可なく使用している作品は不可。
出品料 三千元 応募期間 八月一日より十月二日(必着)

審査方法 応募作品はすべて上映予定ですが、応募作品多数により上映予定時間をオーバーする場合は選考を行います。応募用紙などは、映画塾事務所、シネ・ウインドにあります。八月中旬からは映画塾コムからダウンロードもできます。問い合わせ インディーズムービーフェスティバル実行委員会、025-248-9088(にいがた映画塾内)

映画塾コム NEWS

四月十八日
機材基金二十万円に下

方修正 会員の有志がお金を出し合い機材を購入する「機材基金」の目標金額を二十万円とすることが、十八日の定例会で確認されました。目標の購入品目はガンマイク、三脚などです。会員作品三本、再び大阪で上映。映画塾会員の作品三本が、四月二十九日(土)、大阪で上映されます。上映作品は星龍雄監督「日本海裏

DIARY

4月10日 7月29日

- 4月18日 第14回定例会
- 4月29日 シネバン2000Vol.15「寺嶋真里特集」
- 4月29日 毛布」など大阪で上映
- 5月2日 第15回定例会
- 5月12日 「ひとやすみ」東京上映(21日)
- 5月14日 第5期映画塾開講(ビデオ撮影体験など)
- 5月16日 第16回定例会
- 5月20日 にいがたシナリオ講座開講(24日)
- 5月21日 第5期2回目(映画入門など)
- 5月28日 第5期3回目(8ミリ実習準備)
- 6月3日 にいがたシナリオ講座2回目(7日)
- 6月4日 第5期4回目(8ミリ実習)フリーマーケットに出店
- 6月6日 第17回定例会
- 6月11日 第5期5回目(シナリオ・絵コンテ講義など)
- 6月17日 にいがたシナリオ講座3回目(21日)
- 6月18日 第5期6回目(8ミリ編集)
- 6月20日 第18回定例会
- 6月21日 「うれしい、着ぐるみ」北海道新得町で上映
- 6月25日 第5期7回目(映画理論など)
- 7月1日 にいがたシナリオ講座4回目(5日)シネバン2000Vol.16「原将人・初国知所之天皇上映」
- 7月2日 第5期8回目(8ミリ講評など)
- 7月4日 第19回定例会
- 7月9日 第5期9回目(演技実習、卒制企画発表など)
- 7月15日 にいがたシナリオ講座5回目(19日)劇団MAMEカラット公演「ママ」
- 7月16日 第5期10回目(検証「阿賀に生きる」)
- 7月18日 第20回定例会
- 7月23日 第5期11回目(録音実習)
- 7月28日 あきる野映画祭で井上朗子さん作品がグランプリ
- 7月29日 にいがたシナリオ講座最終日(8月2日)

通り」、井上朗子監督「毛布」、駒形千夏監督「it」です。鶴飼さん国際結婚!

第三期講師のプロの映画編集技師、鶴飼邦彦さんが結婚していたことが分かりました。しかも国際結婚! お相手はフリービンのマリアレサさん。なんと、二十二歳年下です。未永くお幸せに。

四月二十五日
ひろしま映像展本選には進めず、ひろしま映像展が四月八日行われ、更には映画塾関係では、更科ヒトシさん(一期の「北の国より」など五本が出品されましたが、本選には進めませんでした)。「王様と裸」 PFF 二次審査を突破! 六月三十日に行われる「第二十二回あフィルムフェ

ステイバル/PFFアワード二〇〇〇)の入選作品が発表され、中野敏寛さん監督の「王様と裸」が、入選には至りませんが、入選には至りませんでした。第一次審査を見事突破しました。

五月十五日
種橋さんらの料理に舌鼓 第5期映画塾がいよいよスタート! 講座終了後、映画塾事務所で開催した懇親会には受講生十人と、スタッフ三十人ほどが参加。宴会「おかし」担当の種橋美樹さんらによる手作りの料理で盛り上がりました。

五月十八日
inoue 営利団体化宣言! ナシモトタオさん率いる映像集団「inoue」は、今後数年内に営利団体化を目指すことが決まったと、十六日の定例会でタオさんから報告がありました。映画制作やイベント企画などに積極的に取り組み、収益をあげられるようにしたいとしています。

DVカメラが紛失! 由々しい事態が起こりました。映画塾事務所に着いたのは、映画塾の予算に組み入れてあった会員のデジタルビデオカメラが紛失したのです。十六日の定例会では、警察に盗難届を出すことも話し合われました。(その後発見されました。)

五月二十一日
カンヌ映画祭、青山監督に国際批評家連盟賞 フランスのカンヌからうれしい便りが届きました。カンヌ映画祭で二十日、第四期講師の青山眞治監督作品「EUREKA(ユリイカ)」が国際批評家連盟賞を受賞しました。受賞後の会見で、青山監督は「これで世界中の観客が「ユリイカ」を、観てくれることを心から願っています」とコメントしました。

六月六日
フリーマーケットは五万六千円 六月四日に行われたフリーマーケット「スワップ・ミート」に

制作やイベント企画などに積極的に取り組み、収益をあげられるようにしたいとしています。

DVカメラが紛失! 由々しい事態が起こりました。映画塾事務所に着いたのは、映画塾の予算に組み入れてあった会員のデジタルビデオカメラが紛失したのです。十六日の定例会では、警察に盗難届を出すことも話し合われました。(その後発見されました。)

五月二十一日
カンヌ映画祭、青山監督に国際批評家連盟賞 フランスのカンヌからうれしい便りが届きました。カンヌ映画祭で二十日、第四期講師の青山眞治監督作品「EUREKA(ユリイカ)」が国際批評家連盟賞を受賞しました。受賞後の会見で、青山監督は「これで世界中の観客が「ユリイカ」を、観てくれることを心から願っています」とコメントしました。

六月六日
フリーマーケットは五万六千円 六月四日に行われたフリーマーケット「スワップ・ミート」に

井上さん大賞! あきる野画祭

七月二十八日
あきる野市で開かれた「あきる野映画祭」で、井上朗子さんの新作「ダイアログ1999」がコンテスト部門でグランプリとなり、賞金三十万円を獲得しました。井上の応募作品が集まり、井上さんの作品は二次審査を通過した九本の中に選ばれていました。

井上さんは「映画塾のために賞金で映写機を買おうと思います。司会の「バイレツ」には受けが悪かったので悲しかったです。次回は頑張りましょう」とコメントしました。

七月四日
県アマチュア映画連盟に加入へ 県アマチュア映画連盟(河辺明彦会長)加盟が、七月三十日に実現することになりました。同日、加茂市で開かれる同連盟の総会で正式に決定します。

一六ミリ映写機壊れる 映画塾にある一六ミリ映写機が壊れました。フィルムを送るローラーのゴムが溶けてしまったのです。修理に出すことになりました。

七月二十四日
広島で「びーす」上映 第4期OGの加藤陽子さんの大学時代の一六ミリ作品「びーす」などが八月二十日午後九時から、広島市の横川シネマで上映されることになりました。入場無料です。

編集後記

内容があふれてしまったため、臨時増刊を九月上旬に発行する予定です。

【編集スタッフ】星龍雄【題字】宮川直子

にいがた映画塾
お問い合わせ等はこちらへ!

〒950-0086 新潟市花園2-3-2飛鳥ビル
電話・ファクス 025-248-9088
電子メール mail@n-eigajyuku.com
映画塾コム www.n-eigajyuku.com